

Dramatic Car-magazine
Tipo

アルファ&ロメオ5

ALFA & ROMEO

VOL.



- 太田哲也コラム
- Alfa Times: シューマツハが156GTAをテスト! 他
- チューンド・アルファ・ニュース
- アルファ・チャレンジ開幕レポート
- ボンジョルノ西川の「イタリア親孝行日記」
- スタッフのアルファ・ロメオ「そりゃアルファ!」

● 特集 ヒツゲマイナー2連発!
ALFA156フェイス3登場、
GTV&スパイダー3.2が
GTAと対決!



究極のミッドシップ・アルファ・ロメオ

Tipo33/2

初体験公道インプレッション!

フェラーリよりも刺激的。

特注ワンオフからインコネルまで!!
Alfaマフラー特集!

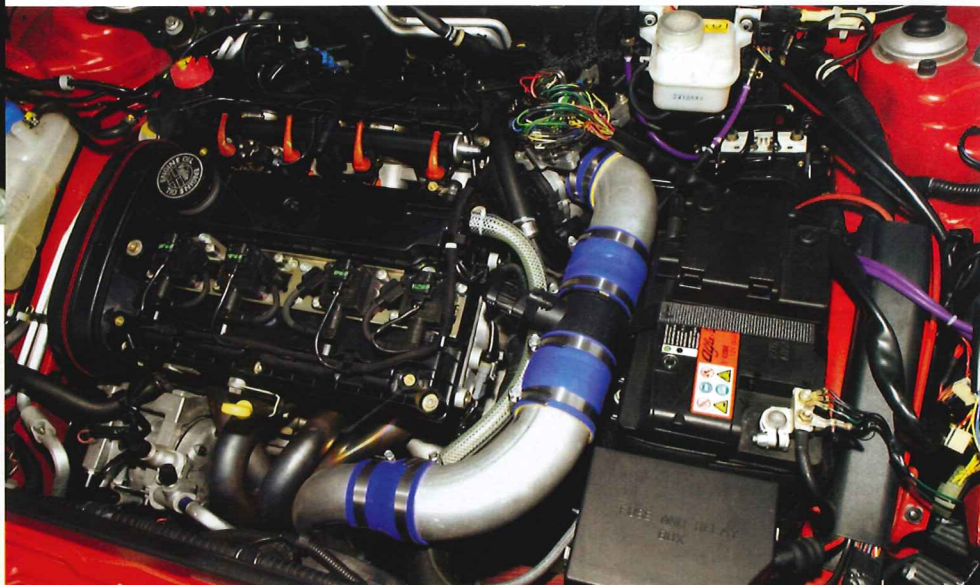
ファッションでも、走りでもイけるAlfa!
今年の秋はジュリアでキメたい!

田中むねよし
イラスト & エッセイ
「HEART DIARY」





200psのTSユニットって言ったら、カムにピストン、クランク、ヘッド加工にフルコンと、何もかもやらなきゃいけない、価格もそれは恐ろしいものとなる。もっと簡単にできる200psはないの？ターボを付けちゃえばいいんです!! 世界と言われる日本のターボチューニング技術をもってすれば、200psのTSなんて簡単に作れるはずなのだ。そう考えていたら、TSにターボを付けちゃったチューナーが現れた。



ターボ
アルファ
ローマ
ニューズ

文:奥津匡倫 撮影:海老沼功之
問い合わせ:ライデントトピズ tel.0569-73-2187

国産チューナーが作る ターボチャージド 147



ライデン代表の工藤さん。ターボを使ったチューニングやセッティングには定評のある、国内でも有名なチューナーのひとりだ。

サブコン制御でNAの ファインチューンもアリ

ライデンがターボ化の前に取り組んでいたのが、HKSのFコンSを使った燃調セッティング。ノーマルの燃調をさらに細かく詰め、理想的な空燃比に近づけていくことで、フィーリングアップと若干のパワーアップを実現。さらにエキマニから排気系をオリジナルのものに交換することで10ps以上ものパワーアップが可能だという。パワーよりもレスポンスと気持ちのいいフィーリングが欲しい、という人にはこちらがオススメ。FコンSはいわゆるサブコンピューターと言われるものだが、HKSのそれはかなり高い機能が与えられている。また、同じHKSのフルコン、FコンVプロを使用するようになれば、チューニングの幅はさらに大きく広がる。楽しみがまたひとつ増えたことだ。



ライデン147ターボの仕様だが、エンジン本体は圧縮もノーマルのままTD05Hタービンを装着。ターボ化に伴い、インジェクターを550ccのものに変更。燃調やインジェクターはHKSの、FコンSを使って制御しているのみ。これは国産チューニングカーの世界では、かなりお手軽な仕様なのである。パワーエック等はしていないとのことだが、タービンの風量やインジェクターの容量から推測すると、恐らく200〜220psほどは発生しているはず。やっぱりターボはスゴイ!! 完成後のテストでトラブルが出たため、まだきちんと走らせていないそうだが、どのくらい速いのか、かなり気になるところだ。

これからの要注目のチューニング!? アルファ147ターボチューン

日本のターボチューニング技術は世界一と言われている。600psのチューニングカーを街中で普通に走らせることを可能とする制御技術は、海外のチューナーを確実に上回っている。そんな日本のチューニング技術でターボアルファを作れないものか、なんて考えていたら、本当に作ってしまったチューナーが現れた。

147TSをターボ化したチューナーは、愛知県のアラバドットピズ(以下、ライデン)。ライデンの母体はリコーレーシングというチューニングショップで、国産車をメインにあらゆるチューニングをこなしてきたパワービルダーである。そんなライデンだから、素材がアルファに変わっても難なく? ターボを取り付けることができたのだ。

ライデン147ターボの仕様だが、エンジン本体は圧縮もノーマルのままTD05Hタービンを装着。ターボ化に伴い、インジェクターを550ccのものに変更。燃調やインジェクターはHKSの、FコンSを使って制御しているのみ。これは国産チューニングカーの世界では、かなりお手軽な仕様なのである。パワーエック等はしていないとのことだが、タービンの風量やインジェクターの容量から推測すると、恐らく200〜220psほどは発生しているはず。やっぱりターボはスゴイ!! 完成後のテストでトラブルが出たため、まだきちんと走らせていないそうだが、どのくらい速いのか、かなり気になるところだ。

これからの要注目のチューニング!? アルファ147ターボチューン

スーパーチャージャーっていう手もあり!! ドイツ製のハイスピードツアー

アルファ・ロメオに過給器を取り付けるチューナーといえば、真っ先に思い出すのがドイツのノヴィテックだ。これまで156ターボなどをリリースしていたが、最新作は147スーパーチャージャー仕様。主な理由は欧州の排ガス対策だろうが、ターボよりも過給特性がリニアなスーパーチャージャーなら、NAの魅力がそれほどスポイルされずに済むし、過給ラグが少ない分、サーキットでも有利なはず。TSユニットの弱点である低・中速の力強さは段違いだということから、コーナーの立ち上がりでは、きっとNAアルファを軒並み置き去りにできることだろう。ターボとスーパーチャージャー、より速くて楽しいのはどっち?



1.6で2リッターを超える速さ!! イギリスのターボチューン147

まだまだターボアルファは数が少ないが、ガレージエースが輸入、販売するアウトデルタの147ターボは、ターボ147の先駆者の存在。以前T10本誌で取材した1.6ターボは、キャレットT25タービンを装着し、1.6ながら198psを発生するというハイパワーモデルだった。街乗りメインのセッティングになっているから、比較的マイルドな味付けだったというが、それでもノーマルの147を軽く抜き去る程度なら朝飯前、なポテンシャルを身につけている。GTA風のフェイスもタダ者ではない雰囲気だ。さらに、2リッターもあるというから、コイツの速さにも興味津々。これは1度、過給器付きのアルファを集めて、最速決定戦を開催する必要があるかもね。

